

③ 2023年オランダ産作付面積統計（速報値）について

下表は、オリエンタル・OT、LAの交配系統ごとの面積です。
 品種別の面積 及び 他の交配系統につきましては、弊社HPの「2023年オランダ産作付面積統計【交配系統別】【品種別】」をご参照下さい。
 2022年統計から、2年栽培が(種球)と(販売球)に分離されたため、より正確な販売球面積が確認できるようになりました。地味な変化に見えますが、球根供給の実態を業界全体で共有できることはとても重要な改善です。
 オリエンタル・OTの販売球面積(黄色枠太字)は、前年比104%と増加しています。

交配系統	2022年(確定値)					2023年(速報値)				
	リン片 (種球)	2年栽培 (種球)	2年栽培 (販売球)	1年栽培 (販売球)	販売球 合計	リン片 (種球)	2年栽培 (種球)	2年栽培 (販売球)	1年栽培 (販売球)	販売球 合計
オリエンタル	46.04	214.86	159.28	767.06	926.34	38.15	235.63	189.79	734.48	924.27
OT	70.76	174.47	158.03	775.17	933.2	48.11	216.59	190.44	811.09	1001.53
オリエンタル+OT合計	116.8	389.33	317.31	1542.23	1859.54	86.26	452.22	380.23	1545.57	1925.8
	前年比→					74%	116%	120%	100%	104%

交配系統	リン片 (種球)	2年栽培 (種球)	2年栽培 (販売球)	1年栽培 (販売球)	販売球 合計	リン片 (種球)	2年栽培 (種球)	2年栽培 (販売球)	1年栽培 (販売球)	販売球 合計
LA	81.17	0.26	11.56	1140.08	1151.64	79.55	0.84	11.09	1051.06	1062.15
	前年比→					98%	323%	96%	92%	92%

オリエンタルの販売球合計面積(表中右上)は、前年と同様になっていますが、
 【品種別】統計に記載のある八重品種を集計してみますと、販売球合計は
 八重：(2022年産)153.68Ha → (2023年産)208.06Ha 対前年135%と増加、
 又、無花粉シングル(バンドームのみ記載)：6.52Ha → 10.94Ha と増加のため
 オリエンタルシングル(花粉あり)は減少傾向とも言えます。

尚、春に大幅減少と報告されていたシベリアは126.04→132.40と減少していない事が判明し、改めて植付時期のオランダ情報は、ブローカーや一部の操作的なものが含まれ、(9月の作況調査に似て)信ぴょう性に欠けるという感想です。

④ 酷暑試験での夜冷試験のご紹介

弊社試験農場では、7月18日定植の酷暑試験 及び 夜冷試験を行っています。
 温暖化のニュースをよく目にしますが、夏場の気温は本州全域がほぼ同じ気候になり、昨今、寒冷地という表現はあまり聞かなくなりました。特に都市部や内陸、盆地、フェーン現象が起きる場所など、最高気温が35℃以上(猛暑)になる地域や時期は、百合の栽培を控えた方が安全とは思いますが、逆に、換気の良い中小規模ハウスでは、夜冷をされ品質が向上した方が徐々に増えています。

到花日数2か月足らず、全体の半分の品種が横(下)向きになる過酷な試験ですが、夜冷比較区(金土日は無冷房)でどの程度の違いが出るか楽しみです。
 暑い日が続く、異常気象や台風も心配ですが、お体ご自愛下さい。 以上